

有害鳥獣被害を防ぐ

ポイント!

●餌付けになることをしない

有害鳥獣が人里まで出没しているのは、安心して楽に工サを得ることができるからです。



▲エサ場になりそうな場所をなくしましょう



▲隠れられる場所をなくしましょう

●隠れる場所をなくす

休耕地や耕作放棄地、雑草が生い茂った場所などは、隠れやすく逃げやすい、有害鳥獣が出没しやすい場所です。山際の草木の伐採や枝払いをして見通しを良くすることで、有害鳥獣が安心できない環境を作りましょう。

※耕作放棄地等の問題は集落全員の理解と協力で解決する必要があります。

有害鳥獣捕獲実施のお知らせ

町では、イノシシ・シカ等による農作物の被害を防ぐため、下記のとおり有害鳥獣捕獲を実施しています。実施期間中は、安全を確認しながら行いますが、わなを見つけた場合は手を触れたりしないようにご注意ください。また、梅園地区では山奥で銃声が聞こえる場合があります。ご理解とご協力を願っています。
※3月回覧物でも同様のお知らせをしています。

期間 3月16日(月)～11月14日(土)

場所 町内全域

捕獲鳥獣名 イノシシ、ニホンジカ、ハクビシン、アライグマ、タヌキ、アナグマ

捕獲方法 銃器、わな

捕獲従事者 越生獵友会 越生支部

問 産業観光課 農林担当

TEL 内線 147

●柵を設置する

自由に出入りできる畠や耕作放棄地は有害鳥獣にとって格好のエサ場となります。ワイヤーメッシュ柵や電気柵などを設置して、侵入できない環境を作りましょう。柵を設置するときのポイントは柵と地面との隙間ができるだけ狭くすること。特にイノシシは柵の下から侵入することが多いです。

アライグマやハクビシンは、雨風を防ぐことができ、安全に子育てができる家屋の天井裏に侵入し、ねぐらとすることがあります。主な侵入経路は基礎コンクリートの通風口や軒天上の換気口などです。侵入口をふさぎ、立木をつたって家や敷地に入られないように近くの木の枝を払いましょう。

●家・敷地に侵入させない

